



「日本スクールカウンセラー協会」主催 第3回全国研修会

スクールカウンセラーによる発達支援

SCの相互連携や資質向上を目的に発足した前身の「SCの未来を創る会」より発展した「日本SC協会」では、実践力を高めるための研修会を下記の要領で開催致します。公立・私立の別や学校種別、資格背景に関係なく「スクールカウンセラー」として活動している方々やSC養成や後方支援を担っている方々と共に、SCに期待されている役割について考え、期待に応じるための知識やスキルの再確認やブラッシュアップができればと考えています。zoom会議室での開催となりますので、全国各地の皆様と共に学び情報共有できることを期待しています。



2024年09月01日(日) 10:00～16:00

Zoomによるオンライン研修 参加費:会員2000円 非会員3500円

午前

10:00～12:00 (受付9:30～)

【講義】 司会:植山 起佐子(岡山県スクールカウンセラー)

《基調講演》「『行動科学』『学習科学』をもとに実践する

『二次障害を生まない』発達支援」

バーンズ亀山静子(NY州公認スクールサイコロジスト)

午後

13:00～16:00

【ミニレクチャー】 司会:松岡 靖子(川村学園女子大学)

①「保護者・教員への伝え方、関わり方」 雲財啓(京都橘大学)

②「校内委員会等への関わり方」 石川悦子(こども教育宝仙大学)

③「私学における特別支援の課題」 高田みぎわ(私立学校SC)

【グループ討議】

【全体の振り返り・質疑応答】

※臨床心理士研修ポイントを申請予定

定員:400名(先着順 定員になり次第締め切ります。)

申し込み期間: ~2024年08月29日(木) 23:45

申し込み方法:下記URL、もしくは右のQRコードより

申し込みページに進みお手続きください

<https://select-type.com/ev/?ev=xXFb7AzjoHI>

問い合わせ先:日本スクールカウンセラー協会 事務局 office.jaosc@gmail.com



【研修企画者より】

企画趣旨

第3回全国研修会のテーマは「発達障害」です。発達障害の基礎知識を学ぶ研修は多くありますが、基礎知識があつたとしても、SCとして学校で発達に課題のある子どもたちと実際に出会ったときに、どのように支援を行うかということに悩み迷うことがあると思います。そのため本研修では、アメリカNY州公認スクールサイコロジストであるバーンズ亀山先生を講師にお迎えし、日本でのSC活動にも取り入れられる具体的で実践的なアセスメントや支援の方法を学びます。更に午後には、日本のSCが各現場でどのような工夫を行っているかということについても公立学校・私立学校のSCからお話しいたします。

松岡靖子(川村学園女子大学)

【講義より】

講義「『行動科学』『学習科学』をもとに実践する『二次障害を生まない』発達支援」

バーンズ亀山静子(NY州公認スクールサイコロジスト)

バーンズ先生はアメリカNY州公認スクールサイコロジストとして現地校や日本人学校、補習校における在留邦人などの支援に携わっていらっしゃいます。アメリカの学校内における支援専門職は、スクールサイコロジスト、スクールカウンセラー(ガイダンスカウンセラー)、スクールソーシャルワーカー、特殊教育専門教員等があり、時にはST、OT、PTなど日本よりも多職種が連携協働しています。

日本には、アセスメントと支援計画立案の専門家であるスクールサイコロジストはいないので、SCが兼務あるいは一部を担うことになるように思います。しかし、SCは発達支援のためのアセスメントや発達特性にあつた支援スキルを学ぶ機会はほとんどないのが実情です。そこで、アメリカだけでなく日本の学校や教育事情に精通していらっしゃるバーンズ先生から、日本のSCにできそうな実践的なアセスメントや支援の方法やアイデアを学びたいと思います。

【話題提供者より】

ミニレクチャー①「保護者・教員への伝え方、関わり方」 雲財啓(京都橘大学)

スクールカウンセラーとして活動する中で、発達に課題を持つと感じる生徒は一定数いますが、その生徒が何らかの診断が確定されているかということと必ずしもそうとは限りません。そこで、発達障害と診断されていないものの発達に課題があると感じる生徒と関わる際、生徒本人やその保護者などどのように関わり、教職員とどのように連携をしていくのか、現場で実際に行ってきた工夫や悩みを中心にお話したいと考えています。

ミニレクチャー②「校内委員会等への関わり方」 石川悦子(こども教育宝仙大学)

障害者差別解消法が改正(2024年4月施行)され、社会全体として障害児・者への支援の在り方についての関心が益々高まっています。SCは、保護者から持ち込まれる知能検査等の結果を、日頃の教育活動や合理的配慮へつなげるため、教職員へ具体的に説明しながら橋渡しの役目を果たすことがあります。また、外部巡回相談員の提案をどのように学校場面に反映していくかについて校内委員会で発言する機会もあるでしょう。これらの点について経験を元にお話したいと思っています。

ミニレクチャー③「私学における特別支援の課題」 高田みぎわ(私立学校SC)

複数の私学SCとして長年勤務してきました。発達障害の子どもたちとその保護者、関わる教員、また、ともに学校生活をする子どもたちやその保護者と一緒に、試行錯誤を繰り返しながらこれまでやってきました。実際の取り組みと体制づくりは、発達障害の疑いのある事例に出会う中、みんなの困り感を軽減しお互いの成長に繋がられるようにと、「今活用可能なリソース」を出し合う中で進んでいきます。みなさんと、その道のりを共有できるお話しができたらと思います。

【日本スクールカウンセラー協会】

前身である「SCの未来を創る会(SC未来の会、2020年発足)」より発展させるために2023年4月に移行。学校等でスクールカウンセリング業務を行う者(スクールカウンセラー)及びその支援を行う関係者相互の連携を密にし、スクールカウンセラーの資質、技術及び地位の向上を図り、その活動を通して広く子どもたちの健全育成、家庭と学校の協働及び地域社会の健全な発展を寄与することを目的としている。

<理事>

荒井久美子(京都)、石川悦子(東京)、植山起佐子(岡山)、内田利広(京都)、雲財啓(兵庫)、窪田由紀(福岡)、高田 晃(山口)、後藤沙苗(岩手)、小林哲郎(京都)、阪口裕樹(愛知)、進賀友一(岡山)、高田みぎわ(京都)、田波勝(東京)、徳田仁子(京都)、福田憲明(東京)、本間友巳(石川)、益子洋人(北海道)、松岡靖子(東京)、吉村隆之(福岡)、渡邊容子(新潟)

<監事>

永田法子(愛知)、中村泰江(北海道)

<事務局>

川寄由起美(兵庫)、鈴木美和(奈良)、花井博(愛知)、松丸未来(東京)